

令和3年度

# 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道		報告者:十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道 代表 高木 修一					報告年月日:2022/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R3					
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の顔としての美しい沿道景観創り</li> <li>地域の思いを反映した景観づくりのためのルール設定</li> <li>訪問者に満足してもらうための情報共有</li> </ul>	花壇整備プロジェクト	花壇整備	大樹町部会	令和3年5月～10月	参加人数: 延べ120名程度	—	各町村の地域部会が主体となり、沿道の花壇整備を実施している。毎年実施されており、訪れる人々の目を楽しませている。
		清掃活動	—	—	—	—	—	—
		景観改善	—	—	—	—	—	—
		景観ポイント	—	—	—	—	—	—
地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域を盛り上げるイベントに取り組む</li> <li>地域の活動を活かし、より大きな活動につなげる</li> <li>連携の輪を広げ、活動を大きく育てる</li> </ul>	シーニックカフェ	シーニックカフェ	南十勝夢街道	令和3年4月～令和4年3月(カフェにより期間異なる)	カフェ4箇所	—	シーニックカフェちゅうるいは軽音楽コンサートや無料コーヒー提供サービス等が好評であるが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。シーニックカフェと連携して、来訪者への情報発信とともに地域の魅力を伝える活動を今後も継続していく。
		勉強会・研修会	—	—	—	—	—	—
		情報共有・情報発信	—	—	—	—	—	—
		地域連携	シーニックカフェスタンプラリー	南十勝夢街道	令和3年7月17日～9月30日	応募11人(カフェ3箇所)	A — 2	シーニックカフェの充実化が図られたことから、連携して情報発信を行うため、ルート独自のシーニックカフェスタンプラリーを開催した。今後も新規登録場所を探しながら、継続的に開催していく予定である。
			北海道ガーデン街道との連携事業:人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	シーニックバイウェイ&ガーデン街道 美しい北海道景観を育てる会	令和3年4月～令和3年3月	主催者:60名程度	—	北海道ガーデン街道、十勝シーニックバイウェイ3ルート、大雪・富良野ルートの連携で次世代に良い景観を継承していくための植樹や景観保全の連携事業を実施。今後も継続して実施していく予定である。

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道	報告者: 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道 代表 高木 修一	報告年月日: 2022/3/31
----------------------------	-----------------------------------	------------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R3					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の観光資源を発見し有効活用する</li> <li>人が集まる地域になるための情報発信</li> <li>訪問者に満足してもらうための情報共有</li> <li>「見る・遊ぶ・食べるの充実」</li> </ul>	フォトコンテスト	南十勝夢街道フォトコンテスト	南十勝夢街道	募集: 令和3年7月1日～9月30日	応募240点	A — 1	認知度向上により管内はもとより、道外、道内からと幅広い方から多くの応募があった。今後も継続して実施していく予定である。
			フォトコンテストカレンダー販売	南十勝夢街道	令和3年11月～令和4年1月	南十勝町村等12箇所販売		入賞作品をメインにカレンダーを制作し販売。今後も継続して実施していく予定である。
			フォトコンテスト巡回作品展(中札内、更別、忠類、大樹、広尾、とかち帯広空港)	南十勝夢街道	令和3年7月24日～10月22日	南十勝5町村		南十勝の魅力を発信するため、前年度フォトコンテストの入賞作品を展示する巡回作品展を、各6会場で行った。今後も継続して実施していく予定である。
			—	—	—	—	—	
		イルミネーション	—	—	—	—	—	—
		観光資源発掘	—	—	—	—	—	—
		モデルルート作成	—	—	—	—	—	—
		広報・PR活動	ホテルオークラ札幌情報発信	ホテルオークラ札幌	令和3年9月1日～9月20日	南十勝5町村	A — 3	閉館するホテルオークラ札幌の最後のレストランフェア「南十勝夢街道フェア」と連携して、フォトコンテスト写真展やポスター、パンフレットなどを設置。都市圏での情報発信を行うことにより多くの人に南十勝の魅力をPR出来た。
			黄金道路の魅力発信	南十勝夢街道	令和3年4月～令和4年3月	主催者: 10名程度	A — 4	「秀逸な道」候補区間である黄金道路の魅力を発信する動画やポスター、チラシなどを作成し、帯広駅やバスターミナル、道の駅等の施設で放映、掲示を行った。歴史的な魅力もPRすることが出来るため、今後も継続していく予定である。
			とかち景観ギフト	十勝シーニックバイウェイ、行政連絡会議	令和3年7月～令和4年3月	主催者: 40名程度	A — 5	十勝の魅力的な景観をPRする地域景観と秀逸な道のポストカードを作成し、観光施設やお土産等を販売している施設等へ設置。受け取った人に直接PRできるため、今後も継続して実施していく予定である。

# 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：フォトコンテスト & フォトコンテストカレンダー作成 & フォトコンテスト巡回作品展

## 【概要】

フォトコンテストの開催及びコンテスト入選作品から作成するフォトコンテストカレンダーの作成及び販売は候補ルート時から継続して実施している活動である。フォトコンテストは、地域の魅力を発信しエリアに訪問して頂く機会を作るため、平成18年より実施している活動で今年度で16年目である。管内だけではなく管外・道外、幅広い年代の72名から多数の応募があり、などフォトコンテストの取組が着実に根付いている。また、フォトコンテストの入賞作品の巡回作品展（6箇所：各2週間程度）を開催した。フォトコンテスト及びフォトコンテストカレンダーの作成は本ルートの景観の素晴らしさを多くの方に知ってもらえる活動となっていることから、継続的に取り組む予定である。

【日時】 作品募集：令和3年7月1日（木）～9月30日（木）

カレンダー販売：令和3年11月～令和4年1月

【場所】 撮影：南十勝夢街道エリア 販売：南十勝夢街道内商工会及び道の駅、帯広市内など

【主催】 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

【参加人数】 フォトコン応募者数：72名 応募作品数：240点 カレンダー：1,250部作成



フォトコンテスト募集チラシ



カレンダー



フォトコンテスト審査会



巡回パネル展（とち帯広空港）

# 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：シーニックカフェスタンプラリー

## 【概要】

ルート内のシーニックカフェを楽しみながらめぐっていただくと共に、訪れた方へ南十勝夢街道の景観の素晴らしさや、ルート内の魅力を知っていただくため、平成26年度からルート独自で実施している。

## 【実施内容】

ルート内のシーニックカフェ4施設にラリー台紙およびスタンプを設置し、参加者は4施設全てでスタンプを押印し、カフェ店員に提出することで応募となる。応募者全員に南十勝夢街道フォトコンテストカレンダーを送付。

【開催期間】令和3年7月17日（土）～9月30日（木）

【参加施設】シーニックカフェ 3施設 ※ひろおサンタランド休業（改装中）

【主催】十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

【応募人数】11名（十勝管内：3名、十勝管外：4名、北海道外：4名）



スタンプラリー用紙（表面）



スタンプラリー用紙（裏面）

スタンプ台紙

シーニックカフェ	自治体
道の駅ささらべつ 観光と物産の館「ピポパ」	更別村
ちゅうらい (忠類共栄牧場内)	幕別町忠類
原生花園 (大樹町晩成温泉内)	大樹町
広尾 (ひろおサンタランド内)	広尾町



# 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：ホテルオークラ札幌情報発信

【概要】 2021年9月20日に閉館したホテルオークラ札幌の最後のレストランフェア「南十勝夢街道フェア」と連携して情報発信を行った。南十勝の食とともに、ルートで毎年行っているフォトコンテストの作品を展示したパネル展や南十勝の地域と秀逸な道（候補区間）のポスター展示、パンフレットや地域の特産を設置して、南十勝の魅力を多くのお客様にPRすることが出来た。

【開催期間】 令和3年9月1日～20日

【主催】 ホテルオークラ札幌

【協力】 広尾町、（一社）帯広観光コンベンション協会、（一社）帯広物産協会、（一社）シーニックバイウェイ支援センター、十勝シーニックバイウェイ南十勝夢街道

【設置内容】 フォトコンテスト作品、自治体ポスター、秀逸な道（候補区間）ポスター、パンフレットなど



自治体ポスター掲示



秀逸な道（候補区間）ポスター掲示



パンフレット等の設置

# 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：黄金道路の魅力発信

【概要】 「秀逸な道」候補区間である「黄金道路」の景観だけではない、歴史や自然といった一目では伝わりにくい魅力を多くの人にわかりやすく知ってもらうため、動画やポスター、チラシを作成して、帯広駅やバスターミナル、道の駅などで放映、設置を行った。黄金道路の魅力を知ってもらい、地域の資源として活用できるように、継続して活動を行う予定である。

【主催】 南十勝夢街道

【仕様】 放映・設置物：動画、ポスター、チラシ

放映・設置箇所：エリア内の観光施設、道の駅、帯広駅、バスターミナルなど



<動画放映>



<チラシ>



<ポスター>

# 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：とちち景観ギフト

- 【概要】 十勝シーニックバイウェイ、行政連絡会議と連携して、十勝管内の地域の景観と秀逸な道をPRするにポストカードを作成し、地域の観光施設や産物を購入できる施設等に設置。新型コロナウイルス感染拡大防止のため人の移動が抑制され、個人的に地域の産物などを送る機会が増えていることから、十勝の魅力的な景観ポストカードを贈り物として同封して貰うことで、直接的なPRを行い、人の移動が回復したときに十勝へ来訪して貰うことを目的としている。
- 【発行】 令和4年3月
- 【主催】 十勝シーニックバイウェイ
- 【仕様】 印刷部数：各種1,000枚 種類：22種類  
配布箇所：エリア内の観光施設、道の駅、帯広駅、バスターミナルなど



<ポストカード（一部）>



<ポストカード設置>





4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:十勝シーニックバイウエイ 南十勝夢街道	報告者:帯広開発建設部	報告年月日:2022/3/31
---------------------------	-------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No.
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を盛り上げるイベントに取り組む</li> <li>・地域の活動を活かし、より大きな活動につなげる</li> <li>・連携の輪を広げ、活動を大きく育てる</li> </ul>	人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	令和3年4月～令和4年3月	自治体 商工会 帯広開発建設部	植樹維持管理調査報告書の確認等を行った。植樹箇所は国道以外の場合もあることから、関係自治体等と連携して進めていく必要がある。	行政機関とルートが連携した取組を行うことにより効果がよりいっそう高くなっている。今後も行政とルートとの連携を強化しPRのため広域での取組を行っていく必要がある。	
観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の観光資源を発見し有効活用する</li> <li>・人が集まる地域になるための情報発信</li> <li>・訪問者に満足してもらうための情報共有</li> <li>・「見る・遊ぶ・食べるの充実」</li> </ul>	十勝シーニックバイウエイPR活動	令和3年4月～令和4年3月	帯広開発建設部	帯広空港ターミナルビル株式会社の協力を得て、十勝シーニックバイウエイと秀逸な道の紹介、説明などのPRパネルの展示を行った。空港での開催であるため、道外からの観光客が多く、十勝の魅力を発信する機会となった。また、帯広地方第2合同庁舎、道東占冠PAにPRポスターの展示やデジタルサイネージの活用など、十勝SBWの周知を行った。今年度から、来客と周遊を目的に各自治体、主要観光施設等での秀逸な道ポスターの掲示や各自治体及び秀逸な道の景観ポストカード設置を行った。今後も行政とルートが連携し、コロナ禍でも行えるPR活動とコロナ収束に向けた準備を行っていく必要がある。		